

全星薬品工業株式会社

2024年度 環境経営レポート

対象期間：2024年4月~2025年3月
作成年月日：2025年6月25日



もくじ



基本理念・環境経営方針	1
組織の概要	2
事業所紹介	3
エコアクション21役割責任権限一覧表	4
環境管理責任者からのコメント	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～14
次年度環境経営目標設定書	15～17
過去5年間の実績	18
環境経営目標の設定とその実績	19
環境法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	20
社内におけるSDGs活動紹介	21～26
トピックス	27～29
エコ年表	30
総括～代表者による全体評価と見直し・指示の結果～	31



基本理念



まごころを込めて 健康をお届けします



私たちは、良質な医薬品の安定供給を最大の使命とし、人々の健康に貢献します。
その為に、品質・技術・生産性の向上や環境の変化に順応することで、皆さまに信頼され選ばれる企業を目指します。そして、人々が未来へと存続するために、環境保全が共通の重要課題であることを認識し、地球環境に優しいメーカーとして、目標を持って環境保全活動に努めてまいります。

環境経営方針



わが社は、次世代に住みよい地球環境を残すべく、以下の重点項目を中心とした環境負荷を適切に評価し、環境マネジメントシステムに基づく継続的改善に、全員参画を以って取り組みます。

なお、社会に浸透しつつある「SDGsへの取り組み」を追加し、持続可能な未来づくりを目指します。

- 1) 省エネルギー化の推進によるCO2排出量の削減。
- 2) 廃棄・排水量の削減およびリサイクル活動の推進。
- 3) 全社的なペーパーレス化推進による紙使用量の削減。
- 4) 化学物質等の適正管理、環境関連法規・その他要求事項の遵守。
- 5) 地域活性化として、植樹・緑化および近隣清掃活動の推進。
- 6) SDGsへの取組(環境・安全衛生・地域共生を中心とする)。

代表取締役社長

澤井俊哉

2007年 1月15日 (初版制定)
2022年 8月23日 (第6版制定日)



組織の概要



1. 事業所名及び代表者氏名

全星薬品工業株式会社 代表取締役社長 澤井 俊哉

2. 所在地

<本社>

〒545-0051

大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7号

あべのメディックス13階

<岸和田工場・研究所>

〒596-0808

大阪府岸和田市三田町380番地

<和泉工場>

〒594-1157

大阪府和泉市あゆみ野3丁目2番6号

3. 環境管理責任者

環境管理責任者：生産本部 副本部長 東尾 孝祐

4. 事業の内容

医薬品の開発と製造及び販売

5. 事業の規模（2024年度）

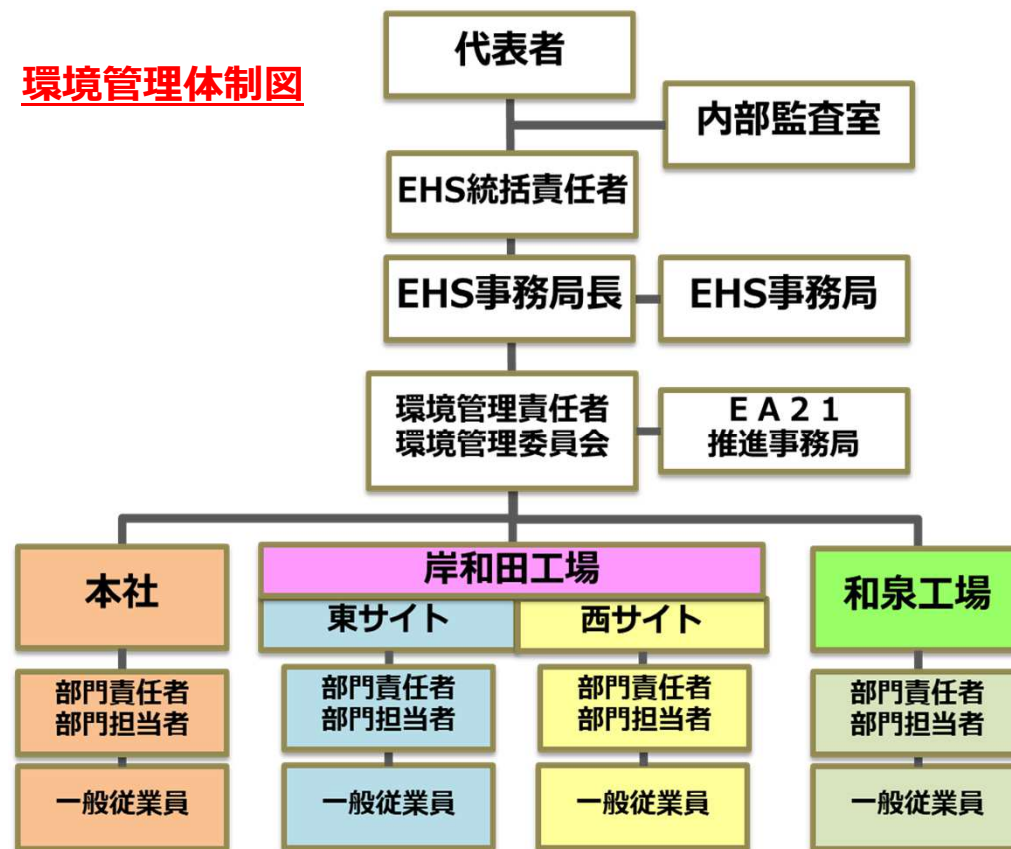
生産量・売上高：3,505,069千錠・20,813百万円

従業員数（派遣等含む）：899名（2024年度平均従業員数）

6. 活動を行う対象組織

	本社	岸和田工場		和泉工場	合計
		東サイト	西サイト		
従業員数	71名	478名	117名	233名	899名
敷地面積 ※本社は延床面積	881.52m ²	17,509m ²	4,386m ²	29,144m ²	51,921m ²

環境管理体制図



事業所紹介



本 社



和泉工場



【生産品目】

経口固形製剤

【特 徴】

1Day1Lot生産ライン
昼夜自動無人設備
新機能設備

岸和田工場



【生産品目】

経口固形製剤

【特 徴】

独自の低コスト製造技術
少量多品種
昼夜自動無人設備



エコアクション21役割責任権限一覧表



対象	役割・権限・責任
代表者（経営者）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針、環境経営目標の承認 ・環境管理責任者及び内部環境監査責任者の任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営レポートの最終承認
内部監査室	・E H S並びに環境経営に関する内部監査の計画・実施・報告
E H S 統括責任者	・E H S の運用に関する統括責任
E H S 事務局長	・E H S の運用に関する管理責任
E H S 事務局	・E H S の運用に関するマネジメントシステムの運営
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・運用・維持 ・環境経営レポートの承認 ・環境経営目標及び環境経営計画の承認と達成状況及び実施状況の評価 ・代表者に運用状況や取組結果を報告 ・EA21活動報告の承認
環境管理委員会	・環境経営計画の実施状況確認・承認等 ・問題点の是正・予防処置の確認・承認等 ・その他EA21活動に関する事項の確認・承認等
部門責任者	・自部門の環境経営計画の承認と報告・対策、評価及び所属員に周知 ・自部門の問題点の発見と是正及び予防処置の実施・報告・対策 ・自部門の環境経営計画の承認と報告・対策、評価及び所属員に周知
部門担当者	・自部門の環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施・報告 ・自部門の環境経営計画の策定と所属員への周知及び推進と実施状況の報告 ・自部門の文書・記録の管理と改廃
E A 2 1 推進事務局	・E A 2 1 推進（実施・運用）のとりまとめ ・環境管理委員会にてEA21活動の報告（4回／年） ・E H S事務局との連携 ・E A 2 1 推進における庶務等 ・エコニュースの発行 ・ポスター等の掲示
一般従業員	・各人の役割と取組の実施 ・緊急事態訓練への参加・報告 ・E A 2 1 関連実務・報告 ・教育訓練への参加・報告

環境経営目標の設定とその実績



項目 \ 年度		単位	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
CO ₂ 排出量	総CO ₂ 排出量	t -CO ₂ /年	6,613	8,458	8,735	8,047	7,967
	電力	t -CO ₂ /年	4,222	5,964	6,215	5,507	5,452
	燃料	t -CO ₂ /年	2,391	2,494	2,520	2,540	2,515
前年度比		%	—	—	132%	92%	99%
廃棄物量	総廃棄物量	t/年	655.28	618.72	705.42	710.14	703.03
	産業廃棄物	t/年	629.23	599.47	684.36	689.29	682.39
	一般廃棄物	t/年	26.05	19.25	21.06	20.85	20.64
前年度比		%	—	—	107%	101%	99%
水・総排水量		m ³ /年	66,980	68,187	72,830	73,770	73,032
前年度比		%	—	—	108%	101%	99%

- ※2023年度購入電力の二酸化炭素排出係数は、2023年度の電気事業者別排出係数(関西電力)の調整後排出係数0.309kg-CO₂/kWhを使用
- ※2024年度購入電力の二酸化炭素排出係数は、2024年度の電気事業者別排出係数(中部電力ミライズ)の調整後排出係数0.440kg-CO₂/kWhを使用
- ※2025年度、2026年度購入電力の二酸化炭素排出係数は、2025年度の電気事業者別排出係数(中部電力ミライズ)の調整後排出係数0.393kg-CO₂/kWhを使用(和泉工場は非化石電力のため0)
- ※化石燃料の排出係数については、温室効果ガス総排出量算定方法ガイドラインVer. 1.0を使用
- ※一般廃棄物排出量は、焼却量を対象にしたもの。
- ※2026年度の目標は2025年度目標値から-1%で設定(ただし、2025年度の実績で目標値は見直す)

環境管理責任者からのコメント



★ 高品質医薬品の安定供給、環境負荷低減およびSDGs への取り組み



2024年度は生産数量の増加に伴いエネルギー使用量が増加した結果となりましたが、原単位（生産数量あたりのエネルギー量）は前年度より5%改善されており、効率的な生産水準となりました。

また2024年度後半よりパレットあたりの製品積み付け量を増やす、資材の削減と輸送効率向上を開始しており、間接的ではありますがCO₂排出削減につながる良い取り組みだと思います。

一方、排出においては昨年度の課題であった一般廃棄物が大幅に削減できたものの、品質トラブルによる産業廃棄物の増加や洗浄強化したことによる排水量の増加が見られました。

	2023年度	2024年度	前年比
生産数量（億錠）	31.6	35.0	111%
従業員数（名）	880	899	102%

	2023年度	2024年度	前年比
エネルギー量（KL）	7000	7370	105%
CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	6613	8735	132%
原単位（KL/千万錠）	22.63	21.66	95%

排出量		2023年度	2024年度
総廃棄物量	t/年	655.28	705.42
産業廃棄物		629.23	684.36
一般廃棄物		26.05	21.06
排水量	m ³ /年	66,980	72,830

2025年度は異常逸脱を減らすこと、廃棄物の管理を強化することにより排出削減を目指します。

またエネルギー使用量においては生産数量の増加により増加してしまいますが、原単位を高水準で維持することを意識して取り組んでいきましょう。

引き続き、環境負荷低減への取り組みとSDGs への積極的な活動を推進しながら高品質な医薬品の安定供給に向けて従業員一丸となって取り組んでいきましょう！

全社の環境経営取り組み結果



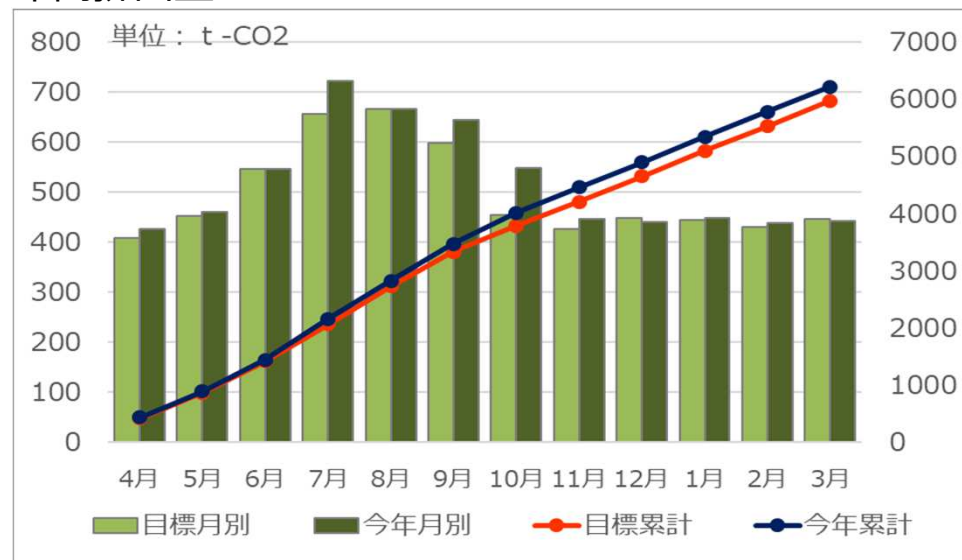
	電力による 二酸化炭素排出量	燃料による 二酸化炭素排出量	一般廃棄物	産業廃棄物	排水量
					
対前 年度 比	147% 大きく増加 ※	105% 少し増加	81% 大きく減少	109% 増加	109% 増加
目 標 達 成 度	96% 未達	99% 惜しくも未達	91% 未達	88% 大きく未達	94% 未達

※電力会社の排出係数増加による(0.309 → 0.440)

電力による二酸化炭素排出量



年間排出量



	目標	実績	達成率	評価
CO2 排出量 (t-CO ₂)	5,964	6,215	96%	✗
電力 使用量 (Mwh)	23,247	24,170		

取り組み内容とその評価

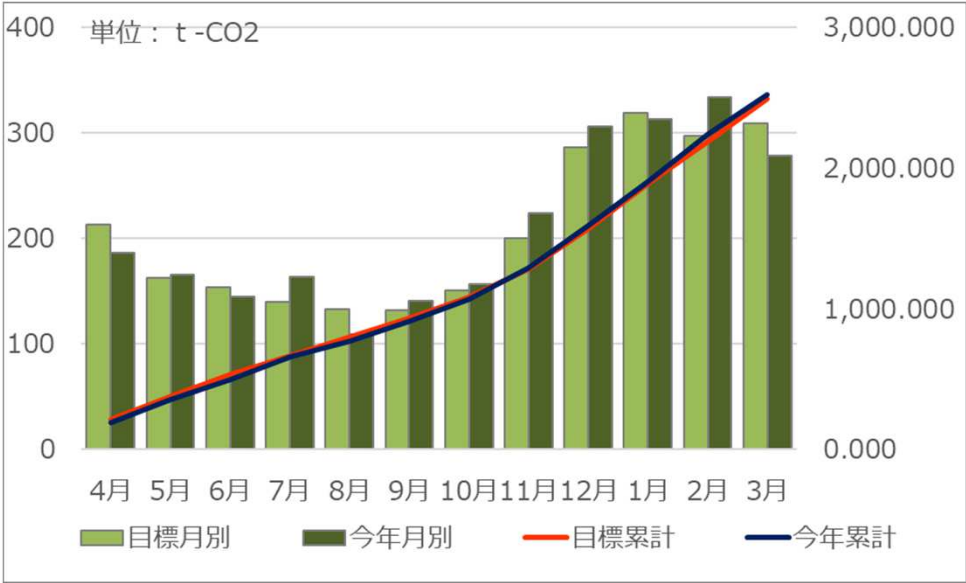
	2024年度取り組み	目標	実績	達成率	評価
東サイト	①コンプレッサーを一台INV機に更新することで、全台の稼働状態を見直しエネルギーロス削減 ②まとめ生産による生産性の向上	4,988	5,284	94%	✗
西サイト	①引き続き、各PJの取組により、チョコ停・ドカ停を削減し、生産性を向上させる ②引き続き、両工場で協力してシフト生産を進め、ロングシフトも活用することで休日出勤を抑制する	927	882	105%	○
本社	①不使用時におけるこまめな電源OFF（照明、空調、PC等） ②空調温度設定の適正温度の維持	49.6	49.0	101%	○
和泉	①生産設備の安定稼働を行う（稼働率UP） ②使用しない設備や分析機器の電源を切る ③休日出勤を減らし生産による電力を削減する ④使用していない部屋の消灯を心がける	0	0	—	○

※和泉工場では非化石電力のため排出係数は0

燃料による二酸化炭素排出量



年間排出量



目標 (t-CO ₂)	実績 (t-CO ₂)	達成率	評価
2,494	2,520	99%	×

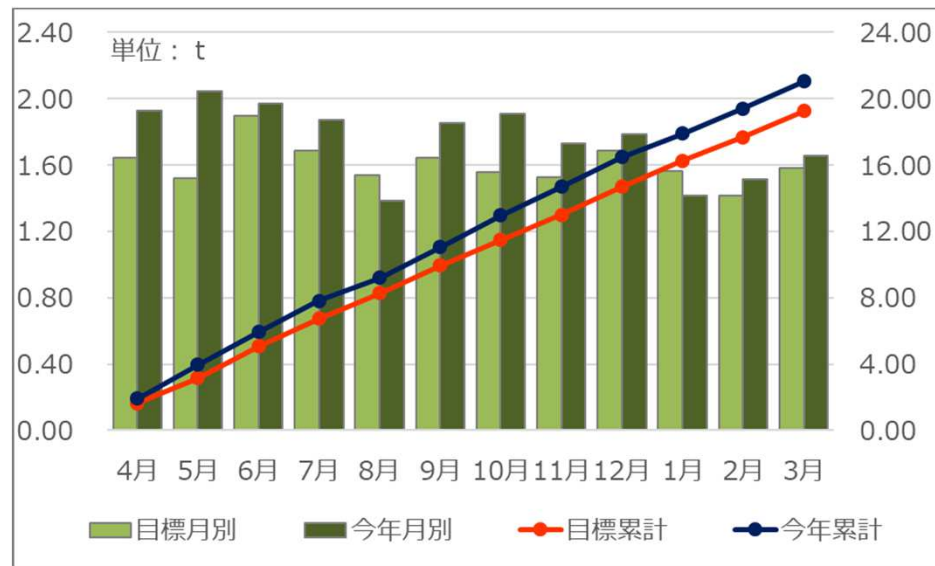
取り組み内容とその評価

	2024年度取り組み	目標 (t-CO ₂)	実績 (t-CO ₂)	達成率	評価
東サイト (西サイト分含む)	①ボイラーの制御方式を理解し、エネルギー削減箇所の探索 ②まとめ生産による生産性の向上	1,308	1,371	95%	×
本社	①アイドリングストップの励行	3.24	2.33	139%	○
和泉	①長期休暇において停止可能なUT設備を停止する	1,183	1,146	103%	○

一般廃棄物排出量



年間排出量(焼却分)



目標 (t)	実績 (t)	達成率	評価
19.25	21.06	91%	×

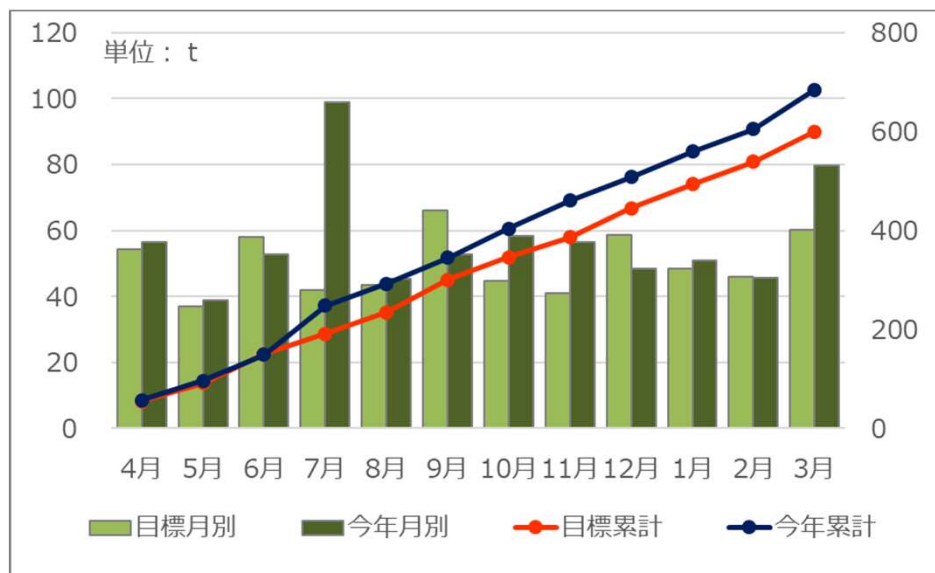
取り組み内容とその評価

	2024年度取り組み	目標 (t)	実績 (t)	達成率	評価
東サイト	①リサイクルできるものは再利用し、ごみ廃棄量を減らす ②廃棄物の有価買取により廃棄に対する意識向上	9.84	10.37	95%	×
西サイト	①分別廃棄の徹底 ②紙配付の手順書の利用状況を見直し、更にERES化を進め、旧版差換え時の紙廃棄を削減する	2.15	2.09	103%	○
本社	①ペーパーレス化に向けて、資料の両面印刷の徹底 ②会議用資料の電子化による使用を推奨	0.193	0.187	103%	○
和泉	①システムの構築、タブレット運用推進より紙の削減を図る ②記録のペーパーレス化を推進し紙使用率を低減する	7.07	8.41	84%	×

産業廃棄物排出量



年間排出量



目標 (t)	実績 (t)	達成率	評価
599.47	684.36	88%	×

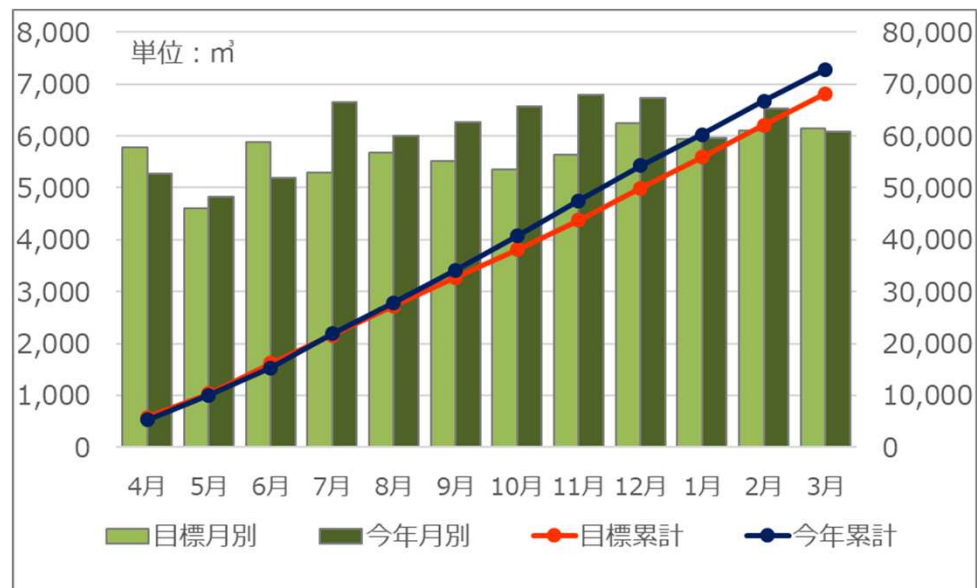
取り組み内容とその評価

	2024年度取り組み	目標 (t)	実績 (t)	達成率	評価
東サイト (西サイト分含む)	①試験を効率よく行うことにより、使用する水や有機溶媒量を削減する ②コーティング液の廃棄量削減のため、最適な液調製量に見直し ③指図書に従い正しい作業を実施することにより、ヒューマンエラーによるロットアウト“ゼロ”を目指し品質不適合による廃棄品を発生させない	439.15	495.16	89%	×
本社	—	—	—	—	—
和泉	①ヒューマンエラー低減により廃棄量の削減を目指す ②生産設備の安定稼働を行う	160.32	189.20	85%	×

年間排水量



年間排水量



目標 (m³)	実績 (m³)	達成率	評価
68,187	72,830	94%	×

取り組み内容とその評価

	2024年度取り組み	目標 (m³)	実績 (m³)	達成率	評価
東サイト	①試験を効率よく行うことにより、使用する水や有機溶媒量を削減する	38,487	41,299	93%	×
西サイト	①引き続き、生活水の使用を抑制するための啓蒙を実施する ②包装不良品の発生を抑制し、水没試験の回数削減、後戻り作業による休日出勤の削減に繋げる。	2,408	1,103	218%	○
本社	—	—	—	—	—
和泉	①生産日程調整により洗浄回数を削減する ②水の出しっぱなしが極力無いよう節水を心がける	27,292	30,428	90%	×

その他環境への取り組み目標



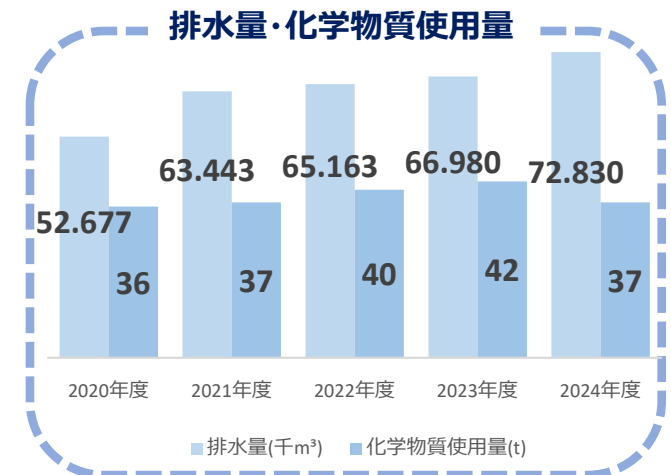
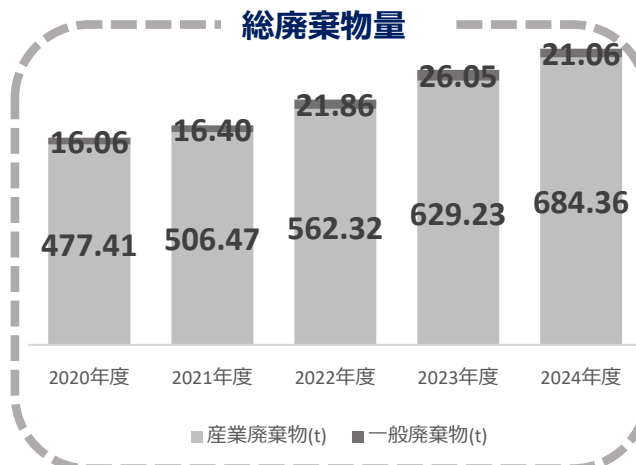
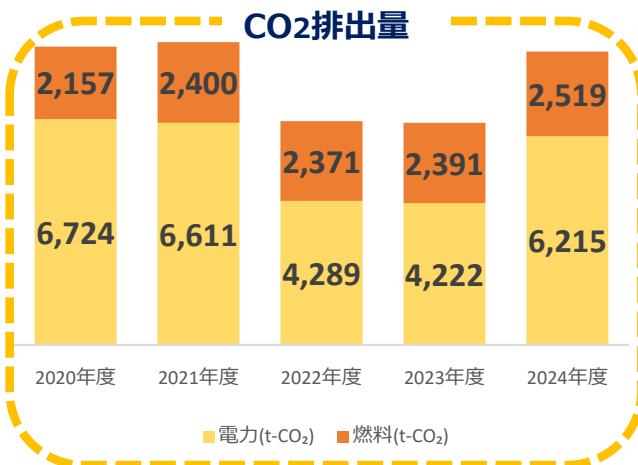
	今年度の取り組み目標	結果
ペーパーレス化の推進	ペーパーレス化のためのシステム化の実施	ワークフローの導入および全社展開により、総務人事部門・経理部門での様々な申請が電子化されコピー用紙購入量の減少につながった
化学物質の適正管理	ジクロロメタンの地下タンクの残量を毎朝夕確認、記録紙、漏洩が無いことを確認する	毎日在庫及び使用量を確認し、地下タンクより漏洩の無いことを確認している。また、廃液についても一般排水に流さないように廃液を別系統にし、業者に引き取りを依頼している
環境配慮品の開発	開発を効率的に行うことにより、使用する電力・水・有機溶媒量を削減する また残業時間を削減する	試験項目や試験回数に合わせた必要量を算出し、水・有機溶媒を必要な分だけ使用することにより使用量削減を推進している



過去5年間の実績



年度			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
期間			2020/4/1～2021/3/31	2021/4/1～2022/3/31	2022/4/1～2023/3/31	2023/4/1～2024/3/31	2024/4/1～2025/3/31
売上高	億円		174	203	212	196	208
従業員数	人		704	751	795	880	899
生産数量	千万錠		269	301	328	316	350
CO ₂ 排出量	総CO ₂ 排出量	t-CO ₂	8,881	9,011	6,660	6,613	8,735
	購入電力	t-CO ₂	6,724	6,611	4,289	4,222	6,215
	化石燃料	t-CO ₂	2,157	2,400	2,371	2,391	2,520
廃棄物量	総廃棄物量	t	493.47	522.87	584.16	655.28	705.42
	産業廃棄物	t	477.41	506.47	562.32	629.23	684.36
	一般廃棄物	t	16.06	16.40	21.86	26.05	21.06
排水量		千m ³	52.677	63.443	65.163	66.980	72.830
化学物質使用量		t	36	37	40	42	37

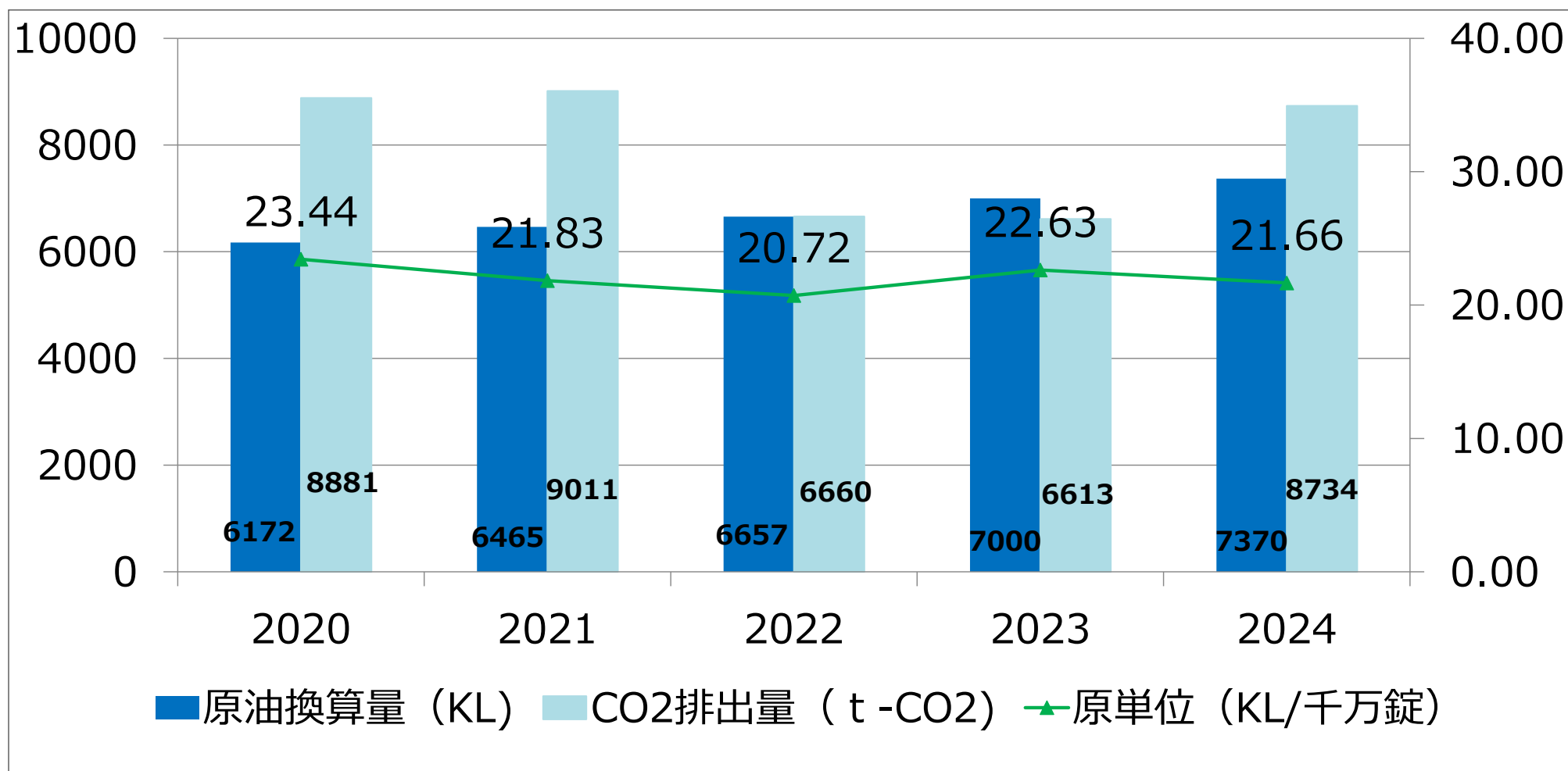


- ※1 購入電力の二酸化炭素排出係数は (CO₂/kWh)年度ごとの調整後排出係数を使用しています。(2024年度は2024年度調整後排出係数0.440kg-CO₂/kWh、和泉工場は非化石電力のため0)
- ※2 化石燃料の排出係数については、温室効果ガス総排出量算定方法ガイドラインVer1.0を参照。
- ※3 一般廃棄物排出量は、焼却量を対象です。
- ※4 従業員数は年間の役員、パート、派遣社員を含む平均数を記載しています。

原単位の5年間推移



前年度比⇒原油換算量：105% CO2排出量：132% 原単位：95%



生産数量の増加・岸和田工場E棟稼働の影響によりCO2排出量は増加しているものの、エネルギー原単位はやや改善している

次年度環境経営目標設定書（2025年度）



岸和田工場 東サイト

項目	単位	2024年 実績値	2025年 目標値	2024年 実績比	目標設定理由/根拠
電気	kWh	12,009,325	11,889,232	99%	前年度実績値－1%
	t-CO ₂	5,284	4,672	—	
燃料	都市ガス m ³	592,500	586,575	99%	前年度実績値－1% ※精製水の熱水殺菌周期の見直しにより削減
	LPG kg	14,672	14,672	100%	前年度実績値
	ガソリン L	1,829	1,811	99%	前年度実績値－1% ※ハイブリット車1台入れ替え
	軽油 L	564	564	100%	前年度実績値を維持 ±0% ※トラックの使用によるもののため、前年度実績値の維持で設定
	t-CO ₂	1,371	1,358	99%	—
一般廃棄物	kg	10,369	10,266	99%	前年度実績値－1%
産業廃棄物	kg	495,158	490,206	99%	前年度実績値－1% ※廃棄ロットの削減、有価買取の促進により削減
水道	m ³	41,299	40,886	99%	前年度実績値－1% ※精製水の熱水殺菌周期の見直しにより削減

※電気はkWhの実績値から目標値を設定し、CO₂排出量は毎年発表される調整後排出係数を用いる

※目標値は四半期毎に見直しを行う



次年度環境経営目標設定書（2025年度）



岸和田工場 西サイト

項目	単位	2024年 実績値	2025年 目標値	2024年 実績比	目標設定理由/根拠
電気	kWh	2,004,307	2,004,307	100%	前年度実績値
	t-CO ₂	882	788	—	※前年度-1%が望ましいが、空調設備の増設を予定しているため前年度実績とする
一般廃棄物	kg	2,093	2,072	99%	前年度実績値-1%
水道	m ³	1,103	1,092	99%	前年度実績値-1%

本社

項目	単位	2024年 実績値	2025年 目標値	2024年 実績比	目標設定理由/根拠
電気	kWh	117,282	116,109	99%	前年度実績値-1%
	t-CO ₂	49	47	—	※サーバー室運用変更により削減
燃料	ガソリン L	1,005	1,005	100%	前年度実績値 ※四半期ごとに実状にあわせて再設定とする
	t-CO ₂	2.33	2.33		
一般廃棄物	kg	187.35	192.97	103%	前年度の1人当たりの廃棄量×2024年度本社従業員数

※電気はkWhの実績値から目標値を設定し、CO₂排出量は毎年発表される調整後排出係数を用いる

※目標値は四半期毎に見直しを行う

次年度環境経営目標設定書（2025年度）



和泉工場

項目	単位	2024年 実績値	2025年 目標値	2024年 実績比	目標設定理由/根拠
電気	kWh	10,039,169	10,340,344	103%	年間の生産数量に合わせて、電力使用見込みを算出し目標値とした
	t-CO ₂	0	0	—	
燃料	都市ガス m ³	510,266	525,574	103%	年間の生産数量に合わせて、電力使用見込みを算出し目標値とした
	LPG kg	2,104	2,160	103%	従業員比率から算出
	ガソリン L	641	641	100%	前年度実績値を目標値とする
	軽油	141	141	100%	前年度目標値を使用 ※トラックの使用によるものため、前年度目標値で設定
	t-CO ₂	1,146	1,180	—	—
一般廃棄物	Kg	8,408	8,324	99%	前年度実績値-1%
産業廃棄物	kg	189,200	199,080	105%	年間の生産数量に合わせて、見込みを算出し目標値とした
水道	m ³	30,428	31,792	104%	年間の生産数量に合わせて、見込みを算出し目標値とした

※電気はkWhの実績値から目標値を設定、和泉工場では非化石電力を使用のためCO₂排出係数は0。

※目標値は四半期毎に見直しを行う

次年度環境経営目標設定書（2025年度）



方針 No.	年間活動目標	達成手段
1	省エネルギー化の推進によるCO2排出量の削減	・空調エネルギーの削減を図る ・照明のLED化を進める（2027年完了目標）
2	廃棄・排水量の削減およびリサイクル活動の推進	・有価買取物の分別で産業廃棄物量を削減する ・精製水設備の排水量削減を実行する（岸和田工場）
3	全社的なペーパーレス化推進による紙使用量の削減	・製造指図、記録のスリム化で紙使用量削減 ・EHS文書の電子化推進で紙使用量削減
4	化学物質等の適正管理、 環境関連法規・その他要求事項の遵守	・化学物質による事故防止への取組み強化 ・化学物質の紛失、排水流出防止への取組み強化
5	地域活性化として、 植樹・緑化および近隣清掃活動の推進	・地域清掃活動の継続実施
6	SDGsへの取組 （環境・安全衛生・地域共生を中心とする）	・寄付活動、献血活動、エコキャップ活動などの継続実施

環境法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



★主な環境関連法規等

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの指摘及び訴訟も過去三年間ございません。
環境関連法規以外の要求事項(利害関係者)については新たに発生はありません。



《エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(省エネ法)》 ・特定事業者の指定 ・エネルギー管理統括者の選任 ・エネルギー管理企画推進者の選任 ・中長期計画書の提出 ・定期報告書の提出 ・第一種エネルギー管理指定工場の届出 ・第二種エネルギー管理指定工場の届出 ・エネルギー管理者の選任・解任 ・エネルギー管理員の船員・講習の受講	《フロン排出抑制法》 ・フロン使用機器一覧の管理 ・簡易点検の実施 ・法定点検の実施 ・フロン類使用機器の廃棄時の適正処理	《アルコール事業法》 ・アルコール使用許可申請 ・変更の許可 ・帳簿管理 ・使用業務報告
《水質汚濁防止法》 ・特定施設の設置の届出 ・特定施設の構造等の変更の届出 ・排水の排出の制限 ・事故時の届出	《廃棄物の処理及び清掃に関する法律》 ・産業廃棄物の運搬・処分 ・特別管理産業廃棄物の運搬・処分 ・保管基準 ・特別管理産業廃棄物管理責任者の選任 ・特別管理産業廃棄物の多量排出事業者 ・産業廃棄物管理票の交付 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書 ・処理困難通知	《労働安全衛生法》 ・安全衛生に関する資格者の選任、体制の確立 ・作業主任者の選任 ・化学物質有害性の調査 ・定期健康診断の実施 ・心理的な負担の程度を把握するための検査等 ・SDS交付義務物質のリスクアセスメント ・化学物質規制に関する管理者、管理責任者の選任
《大気汚染防止法》 ・施設設置届 ・施設変更届 ・煤煙量等の測定	《毒劇物取締法》 ・毒物又は劇物の取扱 ・毒物又は劇物の表示	《有機溶剤中毒予防規則》 ・有機溶剤作業主任者の選任 ・局所排気装置の定期自主検査 ・掲示 ・有機溶剤等の区分の表示 ・作業環境測定の実施 ・健康診断の実施、結果報告
《下水道法》 ・水質測定、記録の保存	《消防法》 ・防火・防災管理者の選任 ・防火・防災対象物の点検 ・自衛消防組織 ・危険物保安監督者の選任 ・定期点検 ・消防用設備等の設置、維持 ・危険物貯蔵施設の設置届	《特定化学物質障害予防規則》 ・特定化学物質作業主任者の選任 ・局所排気装置の定期自主検査 ・掲示 ・作業環境測定の実施 ・健康診断の実施、結果報告 ・溶接ヒュームの健康障害防止措置
《騒音規制法》 ・設置届出 ・数変更届出	《道路交通法施行規則》 ・安全運転管理者の選任 ・運転者の運転前後のアルコールチェック	《グリーン購入法》 ・出来る限り環境物品等を選択するよう努める
《振動規制法》 ・設置届出 ・数変更届出		
《PRTR法》 ・排出量等の把握及び届出		

社内におけるSDGs活動紹介



■各課の取り組み



環境活動及びSDGsに全員参画を以って活動するために、課ごとに業務と環境活動及びSDGsを結び付けた取組目標を立て、活動を実施しています。

エコアクション21 各課の取組 ～業務と環境活動の関連付け～			
部署名	施設管理部 施設管理一課	所属人数 (施設、パートを含む)	13名
記入者			
主な業務内容	[庫和田工場] ●生産設備・治具等設備等の新規導入及び付帯工事 ●恒常的な安定稼働に向け、トラブル対応・定期点検・不具合に対する整備の実施 ●工程管理に関連する計器の定期校正 ●予防保全はもとより、改良保全・定期保全についても実施		
2023年度の取組目標 (SDGs関連No. 12)	1. 設備保全管理システム導入および実運用によるペーパーレス化にて紙使用量の削減 2. トラブル発生時、庫内から回線をプリントアウトして現場へ持ち込んでいたが、現場用の保全PCを導入することによるペーパーレス化にて紙使用量の削減 3. 蒸気リークロスが原因で発生している部位について、「ねじ込み式」から「フランジ式」に変更することでリークロス軽減ならびにトラブル復旧時の時間短縮 4. 廃棄予定設備あり、ジャンク品ではない主要な機器を部品取り、不測の事態に備える		
2023年度の取組実績	1. 設備保全管理システムの実運用が間に合わず未達 ☒ X 2. 保全用PCの持ち込みにより紙使用量の削減 ☐ O 3. 蒸気リークロス発生部について、ねじ込み式→フランジ式に2件改修実施 ☐ O 4. 廃棄予定設備を廃棄せず、買取可能業者へ売却 (3件) ☐ O 5. E様手洗器における脱ペーパータオルに伴いジェットタオルへの設定切替 (全フロア) ☐ O		
環境方針との関連性	☒ (1) ☒ (2) ☒ (3) ☐ (4) ☐ (5) ☐ (6)		
取組による効果	☒ コスト ☒ 時間 ☒ 廃棄物		
2024年度の取組目標	1. 設備保全管理システム実運用によるペーパーレス化にて紙使用量の削減 (No.12) 2. シクロ使用における「作業着」「環境」への環境低減に向けたハードの封じ込め対策の実行【No.3】 3. 処理活性の高い製剤に用いるクリーンブースのカンテン・グローブBOX等の劣化に伴う確実な補修の実行【No.3】		
備考 その他 (アピール)	[2023年度 売却/買取実績設備] ●カブレリ充填機 (約1,200kg) の売却 ●カブレリ重量チェッカー3号 (約500kg) の売却 ●NP社にて廃棄予定であった倍数量送機 (約200kg) の買取 2024年度も設備や機器の廃棄が伴う場合、売却先の検討によるユースや、故障機器の部品対応にて廃棄物を削減していきたいと思っております！		

■社内教育「5S活動」



新入社員を対象に「5S活動」の社内教育を実施し、業務の効率化による品質の向上、働きやすい快適な職場環境を推進しています。また、5S活動を推進することにより環境活動にも貢献しています。

5S活動＝環境活動＝品質の向上
働き甲斐のある良き会社にな！

5S活動 = 環境活動					効果の成果
5S	活動内容	目に見える効果	経営効果	効果の出る指標	
整理	不要な物を処分する	ほしいものがすぐ見つかる	仕事の効率が良くなる	売上高	コストダウン
		物を動かす作業が減る		残業時間数	
整頓	必要な物を誰でも一目でわかるようにする	発注ミスが減る	クレーム減少 ⇒ 信頼性の向上	生産数量	事故率減少
		無駄な動作が減る		事故率	
清掃	隅々まで綺麗にする	無駄な動作が減る	在庫の回転が良くなる	顧客数の増加	稼働率向上
		在庫数がひと目でわかる		リポート率	
清潔	3Sを維持する	過剰な在庫が減る	社員のモチベーションが高まる	クレーム率	作業時間短縮 (省エネ)
		気持ちよく作業できる		工程内不良率	
秩序	良い習慣を身に付けルールを守る	会社に関わりを持つ		不良在庫数	不良品削減 (廃棄物削減)
				在庫回転数	
				資本利益率	快適な職場環境
				在庫数	
				稼働率	
				社員満足度	
				会社見学者数	
				改善提案件数	

社内におけるSDGs活動紹介



産業廃棄物のリサイクル活動

2021年より、段ボールやパンフレット、シュレッダー後の古紙についてリサイクルできるよう別途回収を行っています。
また2024年より、産業廃棄物から金属類を分類し有価買取を行うことで廃棄物を減らしリサイクル活動を促進しています。

工場・研究所から排出される産業廃棄物についても、できるだけ多くの廃棄物をリサイクルできるよう処理業者の確認・選定を行っています。



リサイクル品	2024年度実績
金属等	11,475kg
古紙	104,280kg

産業廃棄物の収集運搬、処理業者については、現地確認を行い処理状況等を確認しています。



産業廃棄物例



廃プラスチック類



汚泥

選別
破砕
減容
固化

焼却
熔融

リサイクル例



再資源化



RPF化



焙焼炉路盤材再資源化



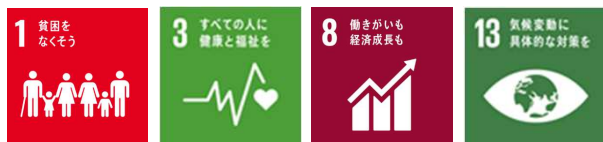
改良土

社内におけるSDGs活動紹介



■ アイシティECOプロジェクト

2024年2月から、アイシティECOプロジェクトに参加。
使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収し、ゴミとして燃やすのではなく、リサイクル製品として再生することでCO₂排出量の削減に繋がります。
また、障がい者の自立・就労支援を目的にリサイクル支援業務を中心に対象者を採用しているプロジェクトです。



2024年度は28.53kg(約28,530個)回収！
CO₂削減量は78.82kg-CO₂となります

工場・本社、すべての拠点で回収ボトルを設置しています。



■ 地域清掃活動

地域住民の方々とのコミュニケーション活動として工場周辺の地域清掃活動を定期的に実施しています。
2023年度より、近隣のバス停や公園まで清掃範囲を広げ、両工場あわせて年に5回清掃活動を行っています。



■ 電気自動車の導入

2024年10月頃に、工場間の移動をメインの使用用途として和泉工場に1台、電気自動車を導入いたしました。
走行中にCO₂を排出しないため環境にやさしく、搭載されている大容量バッテリーは有事の際の電源として使用できます。



社内におけるSDGs活動紹介



■ CO2を食べる自販機

岸和田工場2台、和泉工場1台とCO2を食べる自販機が導入されました！
この自販機には特殊な吸収剤が内蔵されており、設置場所周辺の二酸化炭素を吸収します。1台あたりの年間の吸収量はスギの木の約20本分に相当します。
回収したCO2は工業原料（アスファルト・タイル・建材など）に再利用することで資源としての有効活用と環境負荷の低減を同時に実現します。
また伊良部島のサンゴ保全といった環境保全への活用も進められています。



和泉工場



岸和田工場



■ エコキャップ運動

2017年6月より、エコキャップ運動を開始。
2024年度のエコキャップ実績は約65kg(約27,950個)
CO2排出量削減量は204.75kg-CO2



■ 企業献血活動

工場での献血活動を定期的の実施
2024年度は計65名の従業員が献血しました。



社内におけるSDGs活動紹介



■防災訓練、救命講習、BCP机上訓練

各拠点にて、実地での避難訓練や消火訓練を実施しています。
また、3拠点のBCP対策室メンバーや経営層の方々が集まり、
BCMにかんする講習を受け、有事の際の計画について話し合いました。
BCP関連チームのメンバーについても行動マニュアルを作成し、
実際の被害を想定したBCPの策定に取り組んでいます。



■パン販売

東山自立センターの事業所内にあるパン工房ほのぼのパン
「麦びより」が月に1回、岸和田工場や和泉工場でパン販売
を行っています。



■募金・寄付活動

廃棄物リサイクル・自販機利用費の一部を寄付し国内災害救護
や社会福祉施設、盲導犬育成などに利用していただいています。
2024年度は合計315,370円の寄付を実施しました。

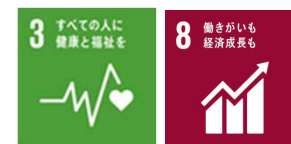


社内におけるSDGs活動紹介



■各拠点での健康づくりイベントの開催

健康経営の推進として、2024年度は各拠点で健康づくりイベントを開催しました。
両工場では、栄養やエネルギーを考えた食事に関する内容や、たばこや転倒リスクなど健康に関する啓発コーナーが設置。また血管年齢の測定や栄養士さんによる相談コーナーなどが実施されました。
本社では運動・フレイル予防をメインに測定機器や展示を実施。
工場の食堂では、健康メニュー（VOSメニュー）は週に1回提供されています。



年に1回のイベントに加えて、
工場の食堂では週に1回
VOSメニューが提供されています



本社



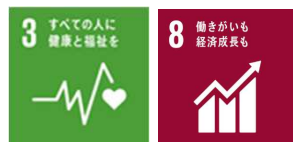
工場



VOSメニューとは..
大阪府が定める野菜・油・塩の基準を満たす主食とおかずを組み合わせたメニューです！

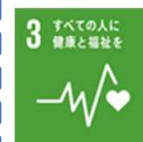
■両工場での健康チェックスポットの設置

健康経営の取組みとして、健康測定機器・器具設置コーナーを各工場で設けました。健康イベントで好評だった握力測定器をはじめ、視力検査表、血圧計、体重計など。
また、血流改善から肩こりや腰痛の解消を目的にぶらさがり器も設置しました！



■自動販売機飲料のカロリー表示

健康意識の向上や生活習慣病予防に繋がればと、工場内に設置している自動販売機の一商品当たりのカロリーを表記しました。
従業員が心身ともに健康で働ける職場を目指して、様々な取り組みを行っていきます。



トピックス



★ 2024年 認定取得の実績

■ 健康経営優良法人

2024年3月11日付けで健康経営優良法人2024（中小企業法人）に認定されました
今後も従業員の健康増進と働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでまいります



■ くるみん

2023年6月27日付けでくるみん認定を取得
出産や育児の支援体制のある子育てサポート企業に対する認定制度です

仕事と子育ての両立支援対策や制度の充実を図り、社員が働きやすく、能力を発揮できる環境づくりを進めています



■ プラチナえるぼし

女性活躍推進法に基づく厚生労働大臣による認定制度の「えるぼし」を
2021年11月10日に取得後、大阪府下で初となる最高ランクの
「プラチナえるぼし」を2023年10月24日付けで取得しました！





2024年の環境影響実績

■和泉工場 再生可能エネルギー(非化石)電力の継続

2022年度から開始した非化石電力の継続使用により、CO₂排出量の削減を図っています。

◆効果 2024年度においては、約4,417 t -CO₂の排出削減しました。

2024年度の電気事業者別排出係数(中部電力ミライズ)の調整後排出係数0.440kg-CO₂/kWhを使用し算出

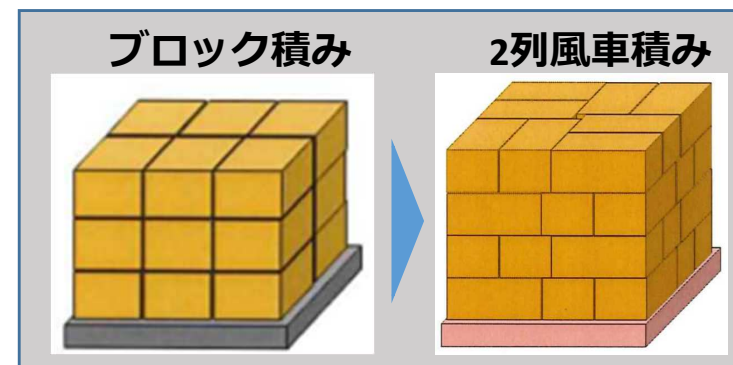


■物流改善による輸送CO₂削減

梱包ケースのサイズおよび積付方法を変更することで
1パレットあたりの製品積載量を増やしました。

→1台のトラックに多く積み込むことで輸送回数が減少

→ 輸送トラックの軽油（排ガス）が減少



	2024年度比	パレット 年間削減数	トラック 年間削減数	軽油 年間削減量	CO ₂ 排出 年間削減量
◆効果	岸和田工場	221枚	18台	340 ℓ	890kg
	和泉工場	276枚	16台	365 ℓ	960kg
	合算	497枚	34台	705 ℓ	1,850kg

全日本トラック協会 CO₂排出量簡易算定ツールにて算出



★ 2025年の環境影響予測

■ 空調エネルギー削減検討

非製造時の空調を停止することで空調エネルギーの削減に取り組む。
まずは試験エリアを対象に停止による影響評価を実施する。

◆ 影響

- ・試験エリアの使用電力削減

■ 精製水設備の排水量削減検討

精製水設備は精製水の品質確保のため1回/週の頻度で熱水殺菌処理を行っている。
和泉工場では品質評価を行ったうえで精製水の熱水殺菌処理の頻度見直しを実行。
水使用量に加えて、都市ガスの使用量についても削減。
岸和田工場についても展開を予定している。

◆ 効果

【和泉工場】

削減対象	1回あたりの 使用量	年間 削減回数	年間 削減量
市水	16m ³	26	416m ³
都市ガス	67.6m ³	26	1,758m ³



エコ年表

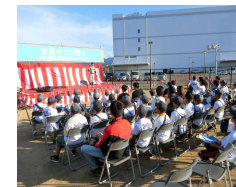


★エコと共に歩んできた道のり

2007.9	EA21認証登録
2017.8	認証登録10周年継続企業表彰式
2017.10	エコ祭り（認証登録10周年記念イベント）
2018.2	第21回環境コミュニケーション大賞 優秀賞
2018.3	認証登録10周年記念樹(桜)
2018.10	認証登録10周年継続企業研修会 講演
2019.2	第22回環境コミュニケーション大賞 優良賞
2019.5	環境 人づくり企業大賞2018 奨励賞
2020.2	第23回環境コミュニケーション大賞 優良賞
2020.10	自販機利用費の一部を用いた寄付活動開始
2021.5	創立70周年記念植樹(桜・柑橘類)
2022.4	和泉工場 非化石電力導入開始
2023.06	くるみん 認証を取得
2023.10	プラチナえるぼし 認証を取得
2024.03	健康経営優良法人 認証を取得



創立70周年記念植樹



エコ祭り



エコキャップ運動



自販機利用費の一部を用いた寄付活動



環境コミュニケーション大賞



環境活動レポート部門 環境経営レポート部門 環境経営レポート部門

代表者による全体評価と見直し・指示の結果

★総括

当社を取り巻く昨今の業界環境は、近年相次いだ他社の不正製造などをきっかけに医薬品の供給不足が依然として解消されない状況です。品質向上と安定供給への取り組みが業界を挙げて進められる一方で、この問題を産業構造上の問題と捉え、業界として持続可能な新しいビジネスモデルへ転換する構造改革が進められています。

2024年度の当社は、生産数量は34億錠、対前年約3億錠増、前年比+10%を遂げました。大きな要素として要員面では前年に続き増員（対前年+3%）を行い、ハード面では和泉工場包装ラインの本格稼働ならびに開発と生産が連携した治験薬製造受託の実施等に取り組みました。環境経営面での主な成果はエネルギー使用量の原単位（生産数量あたりのエネルギー量）を前年比5%削減できたこと、排出において一般廃棄物が大幅に削減できた点が挙げられます。しかし、一方で品質などのトラブルの増加に伴い産業廃棄物量は前年比109%と増加しています。



2025年度は、環境経営計画書に盛り込んだSDGsの各目標への取り組みを基本に、2024年度の結果を踏まえて電力量および産業廃棄物量の削減に注力をお願いします。1つ目は二酸化炭素排出量について非生産時の空調抑制によるエネルギー削減他の検討を、2つ目は産業廃棄物について逸脱を減らす丁寧な業務遂行及び有価物買取の活用他の検討をお願いします。最後に、年度方針に掲げた「内部統制の整備」の一環として環境面においても引き続き法令遵守体制の維持管理をお願いするとともに、SDGsへの取り組みについては、全員参画を促し更に拡大して取り組むようお願いいたします。

環境経営方針

☒ 変更なし

☐ 変更あり：－

環境経営目標・計画

☐ 変更なし

☒ 変更あり：生産数量の増加を見込んだ目標値の設定

実施体制

☒ 変更なし

☐ 変更あり：



まごころを込めて
健康をお届けします..

全星薬品工業株式会社